

定 例 会 議 の 開 催 状 況

第 1 開催日時

令和 7 年 10 月 16 日（木） 午後 0 時 50 分～午後 5 時

第 2 開催場所

公安委員会室

第 3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、情報通信部長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第 4 委員説示

委員から、「国民スポーツ大会での当県警察職員の活躍、銃器事件の摘発等、ここ最近、県警察の様々な活躍がニュース等で取り上げられている。また、交通事故死者数についても、今のところ、昨年に比べ大幅に減少しており、まさに県警察にとって実りの秋を迎えているのではないかと思う。ただ、交通事故については、日没時間が早まる秋口から年末にかけて増加傾向にあるなど、引き続き、それぞれの部門で、県民の安全で安心した生活を確保するため、しっかりと業務を推進していただきたい」旨の発言があった。

第 5 議題事項

警察職員等の特別派遣について

県警察から、大阪府公安委員会からの援助の要求に係る警察職員等の特別派遣について説明があり、審議の上、了承した。

第 6 報告事項

1 県政モニターアンケート「治安に対する意識調査」の実施結果について

県警察から、令和 7 年 7 月に実施した県政モニターアンケート「治安に対する意識調査」の結果について報告があった。

委員から、「自分や身近な人が犯罪の被害に遭うかもしれないと不安に感じるのはどのような犯罪ですか」等という質問に対し、不正アクセス等のサイバー犯罪と答えた方が6割を超えているが、これは県民の多くの方が、インターネットを利用した犯罪等に注意を払ってくれているという表れでもあると思う」、「警察業務の中で、現状ではもの足りない。今後特に力を入れてほしいと思う活動は何ですか」等という質問に対し、「闇バイト」と答えた方が昨年比べて増加しているが、これは県民の関心の高さを物語っているのと同時に、警察に何とか対処して欲しいという期待の表れではないかと感じた。また、県政モニターアンケートの回答年齢を見ると、10代や20代の若者が少ない。「闇バイト」等の問題は、若者も大いに関係している問題であるので、今後、若い世代の回答者が増えることを期待したい」、「近年、警察に限らず民間や個人でも屋外カメラを設置していることが多い。今回の県政モニターアンケートの調査項目で、「屋外の公共場所に設置されている防犯カメラについて、どのように感じるか」との質問に対し、「知らないうちに自分の映像が記録されている。常に監視されていると感じる」等と答えた方が多く、非常に考えさせられる内容の結果になっていると思った」旨の発言があった。

2 令和7年度警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭の開催について

県警察から、11月11日（火）、県庁ホールにおいて警察協会及び消防協会の共催による令和7年度警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭を開催する旨の報告があった。

委員から、「平成11年以降、県警察では殉職者・殉難者が出ておらず、引き続き、この歴史を続けていただきたい。警察車両や装備品等は、壊れても直すことができるが失った命は二度と生き返ることはないので、現場活動時には、自分の命・仲間の命を最優先とした活動を行っていただきたい」旨の発言があった。

3 令和7年香川県警察定例表彰式の実施について

県警察から、令和7年における警察協力者及び優秀警察職員等に対する定例表彰式を挙げる旨の報告があった。

委員から、「警察協力者の方は、長年にわたり、警察活動に協力いただき感謝申し上げます。今回の被表彰者のように、多くの方が、様々な分野で警察活動に協力していただいていると改めて感じた」旨の発言があった。

4 令和7年秋の全国交通安全運動の実施結果について

県警察から、秋の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況は、夕暮れ時の警戒活動や各種広報・啓発活動を推進した結果、発生件数及び負傷者数は現在の運動期間となった昭和51年以降で最少となったほか、死者は2年連続でゼロとなった旨の報告があった。

委員から、「交通事故死者数については、前年の件数と比較するより10年20年前等の長期スパンで検証した方が、成果や傾向が分かりやすいのではないかと思います。引き続き、交通事故死者数ゼロを目指して各種施策や交通指導取締りを行っていただきたい」、「来春、自転車の交通反則通告制度（青切符）が開始となる。引き続き、自転車の交通違反者に対しても指導・警告を積み重ね、交通ルール遵守を呼び掛けていただきたい」旨発言があった。

5 警衛の実施について

県警察から、警衛の実施結果について報告があった。

第7 決裁

1 公安委員会定例会議会議録の作成及び公表について

（令和7年8月28日、同年9月4日、同年9月18日開催分）

2 公安委員会宛て苦情受理報告について

3 外部公益通報とみられる文書の受付及び不受理について

第8 その他

1 今後の取組等について

県警察から、「先日、9月県議会が閉会し、警察関係では、特殊詐欺や交通事故関係の質問を多く受けた。先般実施された県政モニターアンケートでも、これらの問題について県民の関心が高いことが数値上でも表れており、言い換えれば、警察にしっかりと対処して欲しいということだと思うので、引き続き、力を入れて取り組んでいきたいと考えている」旨の報告があった。

2 許可等事務（生活安全部門）の一部業務集約の試行運用について

県警察から、生活安全部門の許可等事務のうち、警察署において処理をしている一部業法の調査・審査業務を本部許可等事務管理室に集約して処理することで、警察署の業務負担の軽減及びリソース配分の最適化を図る旨の報告があった。

3 銃砲刀剣類所持等取締法違反等事件被疑者の検挙について

県警察から、捜査第二課並びに高松北警察署及び高松南警察署は、令

和 7 年 10 月 8 日、銃砲刀剣類所持等取締法違反等事件の被疑者 2 人を通常逮捕した旨の報告があった。

4 中国四国管区内公安委員会連絡会議の発表資料説明について

県警察から、令和 7 年 10 月 27 日（月）に開催される第 8 回中国四国管区内公安委員会連絡会議での発表資料「公安委員会の管理機能の充実化」について説明があった。

5 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。